

真庭なりわい塾 塾生募集イベント開催

Iターンで自分らしい働き方、暮らし方をみつけよう

～スペシャル・ゲストは「捨てないパン屋」の田村陽至さん～

真庭なりわい塾（岡山県真庭市）は、第6期塾生募集にあたり、イベントを開催します。テーマは「買う」から「つくる」暮らしへ。4月23日（土）岡山・24日（日）大阪で開催。

真庭なりわい塾は岡山県真庭市をフィールドに「暮らしを創る力」「ナリワイを構想する力」「地域を支える力」を身に付け、「志をともにする仲間づくり」を応援する講座です。

都会の暮らしは楽しくて便利。でも「お金を稼ぐ」ためにあなたの健康や時間、そして自分らしさが奪われているのかもしれない。本来、暮らしは「つくる」もの。あくせく働いて、たくさんのパンを作っても売れ残りは廃棄するほかない。それならば発想を変えて、「捨てないパン屋」をつくろう！ そんなナリワイづくりを実践する田村陽至さんをスペシャルゲストにお迎えし、塾の説明会を兼ねたイベントを開催します。ローカルに根差して暮らしてみたい。自分なりの豊かさや幸せをみつけたい。人生を変えるヒントがほしい。そんな皆様のご参加をお待ちしています。



2022年4月23日（土） 13:30～16:30 岡山国際交流センター（8階イベントホール）

岡山市北区奉還町2-1-1（岡山駅より徒歩3分）

2022年4月24日（日） 13:30～16:30 大阪市立住まい情報センター（3階ホール）

大阪市北区天神橋6-4-20（天神橋筋6丁目駅より連絡／天満駅より徒歩7分）

※参加費無料 ※各会場とも定員60名 ※公式サイトより要事前申し込み（先着順）

※スペシャルゲスト：「捨てないパン屋」田村陽至さん（ブーランジェリー・ドリアン店主）

そのほか魅力的な移住者（田村さん含め全員が真庭市中和地区にIターン）が登場

小林加奈（松屋館女将・リンエン共同代表）／大岩功（はにわの森代表）

高谷絵里香（農業生産法人 蒜山耕藝）／近藤亮一（禾-kokumono-代表）ほか

主催：真庭なりわい塾実行委員会（岡山県真庭市／真庭市中和地区／NPO法人共存の森ネットワーク）

〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2 真庭市交流定住推進課内 真庭なりわい塾事務局：小藤・植田

電話 0867-42-1179 ファックス 0867-42-1353 メール maniwa.nariwai@gmail.com

真庭なりわい塾公式サイト <https://maniwa-nariwai.org/>



■ 真庭なりわい塾とは

真庭なりわい塾は、岡山県真庭市の農山村エリアをフィールドに、これからの農山村と新たなライフスタイルを模索する人材育成塾です。塾生の多くは30代で、岡山県内のほか、広島や関西方面からも参加いただいています。

■ 真庭市中和地区について

真庭なりわい塾のフィールドである、真庭市中和地区（旧中和村）は、人口600人弱。過疎高齢化が進む地域ですが、水田と里山が広がる景観や人間味にあふれる土地柄は、移住希望者にも人気です。

米や野菜の自然栽培、薪のsmallビジネス、ソバ屋、パン屋、陶芸家、森を活用し子どもたちの教育に取り組む人など、ここ何年かの間に10数組がI・Uターンし、活躍しています。卒塾生も4人が移住しています。

■ 第6期 塾生募集の概要

2022年6月～2023年1月までの期間、月1回（土日）、全8回の講座（フィールドワーク、座学など）を現地で行います。募集定員は20名程度。応募締切は5月12日（木）必着。申込はウェブサイトの応募フォームより。

※塾の説明を兼ねた「真庭なりわい塾イベント」（当案内）を、4月23日（土）は岡山、24日（日）は大阪で開催。5月7日（土）・8日（日）は、希望者を対象に、現地見学・説明会を開催する予定。

★真庭なりわい塾イベント 当日プログラム★

13:00 開場

13:30 主催者挨拶／「真庭なりわい塾が目指すもの」（渋澤寿一）

14:10 スペシャル講義「捨てないパン屋という生き方を選んだわけ」（田村陽至）

14:50 トークセッション「真庭に移住した先輩たち～私たちの豊かさや幸せの基準～」

パネリスト：田村陽至（ブーランジェリー・ドリアン）

小林加奈（松屋館女将・リンエン共同代表）

大岩功（真庭なりわい塾1期生・はにわの森代表）

近藤亮一（禾-kokumono-代表）※岡山会場のみ

高谷絵里香（農業生産法人 蒜山耕藝）※大阪会場のみ

コーディネーター：駒宮博男（副塾長・NPO法人地域再生機構理事長）

16:10 塾生募集のご案内

16:30 終了



真庭なりわい塾の

渋澤寿一・塾長の紹介



東京農業大学大学院修了後、JICA専門家としてパラグアイに赴任。帰国後、循環型都市ハウステンボスの企画・建設・運営に携わる。環境問題を解決するのは、テクノロジーではなく、人の心だと痛感し、NPO活動に転身。

NPO法人共存の森ネットワーク理事長として、真庭市では木質バイオマスを活用した産業づくりや地域づくりに長年携わる。

明治の大実業家、渋澤栄一の曾孫にあたる。

「捨てないパン屋」

田村陽至さんの紹介



亜細亜大学卒業後、山岳・自然ガイド、環境教育に携わり、その後、モンゴルに滞在しつつ遊牧民ホームステイなどを企画する。帰国後、祖父の代から続くパン屋を継承。売れ残って、捨てられるパンに疑問を持ち、ヨーロッパで修業。2015年秋から国産有機栽培の麦と自然発酵の種を使って数種類のパンを焼く「捨てないパン屋」を営む。2020年、真庭市中和地区に妻子が移住し、二拠点生活を始める。